

# 第4回 台東区子ども歴史・文化検定 中学生問題

## 解答と解説

解説文の最後に、参考ページ数をのせています。

※改 とついているものは、改訂版テキストのページです。

平成25年8月24日（土）  
台東区教育委員会

問1

正解 ア

台東区は西側に上野台地、東側に低地が広がっています。(9<sup>ページ</sup>頁・改8頁)

---

問2

正解 ウ

関東大震災は1923(大正12)年におきた大地震です。この大震災をきっかけに、東京の町づくりが、あらためておこなわれました。道路や橋、広場や公園などが、大火災がおきても、大きな被害がでないようにつくられました。アの宝永の大噴火は1707(宝永4)年、イの安政大地震は1855(安政2)年、エの東京大空襲は1945(昭和20)年にあった出来事です。(31頁・改31頁)

---

問3

正解 ア

1923年に起こったのは関東大震災です。東京は9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9といわれている激しい地震に襲われました。ちょうど昼食時で使用中的のかまどやガスコンロの火が燃え移って火事が起こり、被害を大きくしました。(30頁・改30頁)

---

問4

正解 ア

下谷・浅草の組み合わせは、十数年前までは、保健所、清掃事務所、郵便局、税務署の名称等でなじみがありましたが、下谷から上野(郵便局)や東京上野(税務署)への名称変更により、下谷は狭い範囲の名称になっています。(34頁・改34頁)

問5

正解 ウ

浅草寺の境内に1618（元和4）年につくられました。（17頁・改16頁）

---

問6

正解 ア

イ、ウ、エ、はいずれも上野台につくられた古墳です。（11頁・改10頁）

---

問7

正解 エ

上野公園にある摺鉢山は前方後円墳ですが、古墳時代につくられました。（10頁・改9頁）

---

問8

正解 ア

蔵前は江戸時代の初期に、幕府の米蔵がつくられた場所です。幕府が集めた米を荷揚げするため、船着き場が整備された結果、でこぼこしているように見えるのです。（16頁・改15頁）

問9

**正解 工**

5代将軍綱吉は1698（元禄11）年に江戸随一といわれた寛永寺の根本中堂（本堂）を建てました。（17頁・改15頁）

---

問10

**正解 ア**

石川亀吉は、江戸末期から明治にかけて金魚の品種改良を行い、今のランチュウの形にしました。（56頁・改56頁）

---

問11

**正解 イ**

山谷堀の入口にあり、将軍や大名、豪商も訪れました。（38頁・改37頁）

---

問12

**正解 ウ**

とても高価なものだったので、「大名でなければ持てない」という意味から、大名時計と呼ばれました。（53頁・改54頁）

問13

正解 エ

弁天山の小高くなったところに設置され、今でも1日1回朝6時に鳴らされています。寛永寺の鐘も大仏堂の正面に設置され、朝夕6時と正午に時を告げています。(19頁・改19頁)

---

問14

正解 ウ

レンガが建築素材となるのは、明治時代以後のことです。しかし関東大震災での凌雲閣の倒壊に象徴されるように、地震に弱いことが明らかになったため、小規模な建築以外では使われなくなりました。アの代表例が下谷(上野)広小路。イで代表されるのが、いろは四十八組の町火消です。エは家を破壊することにより延焼<sup>えんしょう</sup>を防ぎました。当時も防火用水は常備されていましたが、消火できるほどではありませんでした。(50～51頁・改50～51頁)

---

問15

正解 ア

「梅若伝説」とは、梅若という子どもが人買いにさらわれて奥州<sup>おうしゅう</sup>へ連れて行かれる途中、病で亡くなったことを知った母親が、悲しんで出家して妙亀<sup>みょうき</sup>尼となりますが、やがて鏡ヶ池に身を投げたという話です。橋場には、供養のための妙亀塚という塚もあります。(78頁・改78頁)

問16

正解 工

武蔵国は今の東京都・埼玉県・神奈川県の一部、下総国は今の千葉県北部と茨城県西南部を含んでいました。(69頁・改70頁)

---

問17

正解 工

当時は道路が舗装<sup>ほそう</sup>されていなかったなので、乗り心地はとても悪かったようです。(65頁・改64頁)

---

問18

正解 ア

広小路とは、小路を広げたことをあらわします。火事が起こっても道路が広ければ、火が広がることを抑えられます。(80頁・改80頁)

---

問19

正解 工

豊臣秀吉は大坂城を、織田信長は安土城を、伊達正宗は仙台城をそれぞれ築きました。(74頁・改74頁)

## 問20

### 正解 エ

熊谷安左衛門が、畏にかかったキツネを救ってあげると、のちにキツネ一族から感謝されて盗難除けの呪文を授かり、盗難除けのお札を売り出したといういい伝えがあります。(99頁・改97頁)

---

## 問21

### 正解 ウ

アの大根まつりは大根や野菜を本尊ほんぞんに供えしょうばいはんじょう商売繁盛などを願います。イのまないた開きは鯉こい2匹をまないたに乗せ、手を触れずに長い箸はしと包丁で料理する儀式ぎしきです。エの浄名院にあるのは「へちま地蔵」です。(91～98頁・改88～95頁)

---

## 問22

### 正解 ウ

8代将軍吉宗は、隅田堤や飛鳥山(王子)、御殿山(品川)などにも桜を植えて、庶民のいこいの場をつくりました。(90頁・改18頁)

---

## 問23

### 正解 ウ

毎年5月18日に近い金・土・日に行われます。三社の三は、檜前ひのくまのはまなり浜成・竹成たけなりの兄弟と土師中知はじのなかともの3人を祭神とすることからきています。(95頁・改92頁)

問24

正解 ア

イは茅の輪くぐり、ウは火渡り神事、エはうそかえ神事の説明です。(91頁・改88頁)

---

問25

正解 ア

下谷神社はその昔正法院稲荷といわれ、お稲荷様をまつっていました。いまでもたくさんのキツネの像を境内で見ることができます。(113頁・改110頁)

---

問26

正解 エ

白鳥神社に住む鳥が道を教えてくれたに違いないと、感謝の気持ちをこめて、この土地を鳥越と名づけ、あらためて鳥越大明神としておまつりしました。アはかっぱ寺(曹源寺)、イは待乳山聖天、ウは飛不動に伝わるいい伝えです。(114頁・改111頁)

---

問27

正解 イ

江戸時代の中期ごろから富士登山することが流行りましたが、実際には登山できない人もあり、その模擬体験ができる信仰の施設として富士塚はつくられました。小野照崎神社には5メートルもある富士塚がつくられ、毎年6月30日と7月1日の両日、富士山山開きの日になんで登ることができます。(112頁・改109頁)



問28

正解 エ

住職が負けたので、翌年から榎の実がなくなかったという話です。このお寺を榎寺というのはそのためです。(111頁・改108頁)

---

問29

正解 イ

1934(昭和9)年の建てかえの時、<sup>はいでん</sup>拝殿に日本画の巨匠横山大観により、天井絵「龍」が描かれました。広重は浮世絵、春草は「黒き猫」など、観山は「<sup>こうみょうこうごう</sup>光明皇后」などを描きました。大観は池之端に住んでいました。(113頁・改110頁)

---

問30

正解 ウ

それまで墨摺りに手で色をつけたりしていましたが、色の数だけ板(版)木(色板(版)といいます)をつくって摺る、多色摺りという方法を用いました。(126頁・改123頁)

---

問31

正解 イ

土岐善麿は、浅草生まれの歌人です。「台東区の歌」を作詞したほか、多くの学校の校歌も作詞しました。(テキスト冒頭・改136頁)

問32

正解 エ

谷中の住まいとアトリエは、朝倉彫塑館として一般公開されています。日本彫刻界に貢献した功績によって、1948（昭和23）年に文化勲章を受賞、1961（昭和36）年には台東区名誉区民になりました。（133頁・改131頁）

---

問33

正解 イ

伊藤玄朴は西洋医学医。長崎でシーボルトに学び、下谷和泉橋通りに塾を開き、特に天然痘を予防する種痘の普及につとめた。1858（安政5）年に神田岩本町付近に私立の種痘所を設置、2年後には官立となりました。（122頁・改119頁）

---

問34

正解 イ

ランチュウは、明治時代に石川亀吉という人によってつくられました。（56、126頁・改56、123頁）

---

問35

正解 エ

平賀源内（1728～1780）は、本草学をはじめ多方面にわたって活躍しました。浅草寺の五重塔が建てられたのは1637（寛永14）年で、平賀源内はまだ生まれていません。（18、125頁・改17、122頁）

### 問36

本草学の説明で正しいのはどれでしょうか。

#### 正解 ア

徳川吉宗による享保きょうほうの改革以後、実学じつがく（生活に役立つ学問）が奨励しょうれいされたため、本草学を研究する学者が増えていきました。代表的な本草学者は、小野蘭山や岩崎灌園らです。（124頁・改121頁）

---

### 問37

#### 正解 ウ

ヨーロッパから輸入された洋書は、主にオランダ（和蘭）から輸入されたもので、オランダ語で書かれた書物でした。そのため、ヨーロッパから伝わった学問のことを蘭学と呼びました。（117頁・改114頁）

---

### 問38

#### 正解 ア

池波正太郎は1923（大正12）年に浅草聖天町に生まれました。生涯学習センターの記念文庫には、遺族の寄贈によるたくさんの資料や遺品が常時展示されています。（138頁・改136頁）

---

### 問39

#### 正解 ウ

町田久成は博物館につとめ、日本で初めての博物館設立のために努力した人です。東京国立博物館は1882（明治15）年に完成しました。（145頁・改144頁）

問40

正解 工

こうした売店が上野駅・東京駅に設置されたのは1932（昭和7）年のこと。現在は一部の地域で「キオスク」と呼ばれています。鉄道弘済会とは鉄道で働く人々のためにつくられた団体で、この売店での利益は事故にあった人やその家族の救済のためにあてられました。（153頁・改152頁）

---

問41

正解 工

凌雲閣は通称「十二階」といいます。1890（明治23）年に開業しました。10階までが八角形のレンガづくり。その上は木造でした。日本で最初のつるべ式のエレベーターが設置され、8階まではエレベーターで上れました。ただ、エレベーターは危険ということで、2年で廃止されました。（154頁・改153頁）

---

問42

正解 工

大正時代中期には、乗合自動車や一般の自動車などが行きかい、交通量は増加していました。（154頁・改153頁）

---

問43

正解 工

寄席は、落語などの大衆演芸を開く演芸場のことです。（155頁・改154頁）

問44

**正解 工**

第1回内国勸業博覧会は、1877（明治10）年に日本で最初の国家的博覧会として、上野公園で開かれました。会期中には45万人が来場し、これをきっかけに上野公園では各種の博覧会が何回も開かれるようになりました。（147頁・改146頁）

---

問45

**正解 ウ**

茶室は向島（墨田区）・上目黒（目黒区）を移転したのち、1958（昭和33）年に浅草寺に移築されました。関東大震災や戦災にも被害を受けず、無事であったことから、それは「天祐である（天のたすけである）」といった意味から名付けられました。（168頁・改167頁）

---

問46

**正解 ア**

この建物とは1890（明治23）年に建てられた「旧東京音楽学校奏楽堂」のこと。現在のような音響装置がない時代の建物のため、音響効果をあげるための工夫が各所に見られます。現在もコンサート会場として使用されています（現在は休館中です）。（165頁・改164頁）

問47

正解 イ

アの一葉記念館は明治時代の女流作家、樋口一葉の業績を伝えるために建てられた記念館です。ウの書道博物館は、中村不折が書道研究のために集めた資料や文化財を展示、公開している博物館です。エの下町風俗資料館は明治から昭和の初めころの下町の町並みを再現した資料館です。資料館の2階では昔からあるおもちゃで遊ぶこともできます。平櫛田中彫刻美術館は小平市にあります。(160、162、163頁・改159、161、162頁)

---

問48

正解 ウ

旧吉田屋酒店は、大きく突き出した梁が<sup>はり</sup>屋根を支える出桁造や、板戸を上げ下げして開閉するシャッターと似た揚戸など、明治時代の商家の特徴を残す、貴重な建物です。(161頁・改160頁)

---

問49

正解 イ

これは書道博物館のことで、画家であり書家でもあった中村不折により1936(昭和11)年に開館されました。書をはじめ、不折が書道研究のために集めた中国及び日本の書道に関する資料、考古出土品などが所蔵されています。(163頁・改162頁)

問50

正解 イ

樋口一葉は明治時代の女流作家です。一葉の代表作『たけくらべ』は、下谷龍泉寺町に住んでいたときに構想を得て執筆されました。(162頁・改161頁)